

# S.F.A.通信 第21号

(和歌山県漁業士連絡協議会報)

平成29年3月

発行：和歌山県漁業士連絡協議会

## S.F.A. (=Senior Fishery Adviser、漁業士)

### 漁業士

将来の中核的漁業者として期待される漁業者や、優れた漁業経営を行い指導的役割を果たしている漁業者をそれぞれ「青年漁業士」、「指導漁業士」と県が認定し、現在119名（平成29年2月）の漁業士が地域産業の担い手として活躍しています。

### 和歌山県漁業士連絡協議会

漁業士相互の交流や資質向上、連絡調整を目的に平成元年に発足した和歌山県内の漁業士で構成される組織です。

年1回の総会のほか、他県漁業士との交流会、魚食普及活動、部会単位での会合などを通じて、お互いの情報交換や親睦を図っています。

## ～漁民の森の下草刈り～

平成27年2月21日串本町田並において植樹した苗の保育のため、下草刈りを南紀森林組合へ委託し、実施しました。

【作業実施日】 平成28年7月1日～平成28年7月2日

【面積 (ha)】 0.57



▲作業前



▲作業後



▲作業前



▲作業後

## ～通常総会開催～

平成28年7月16日（土）和歌山県水産会館内において、平成28年度通常総会を開催しました。

通常総会では、平成27年度の事業報告を行いました。また、平成28年度事業計画の中で、塩谷昇会長が「漁業を営む独身漁業者に、出会いの場を提供するイベントを行っていきたい」と抱負を述べられました。

総会終了後の研修会では、株式会社プラス取締役会長の野田忠氏を講師に迎え、「生産者と消費者をつなぐ民間直売所」をテーマに講演いただいた後、出席者によるグループワークが行われました。

研修会終了後には情報交換会が行われるなど、盛りだくさんな内容となり、参加された漁業士の方々は日々の活動に役立てようと、積極的に取り組まれていました。



▲会長挨拶の様子



▲グループワークの様子

## ～わかやま健康と食のフェスタ～

平成28年10月9日（日）和歌山市の和歌山ビッグウエーブで開催された「わかやま健康と食のフェスタ2016」に出展し、宮崎正理事が出席しました。出展ブースでは、漁業士連絡協議会の活動や県内の漁業に関するパネルを掲示したほか、ケンケン漁に使う疑似餌・釣針の展示や船びき網漁業の紹介（DVD）など、漁業についてPRしました。



▲出展ブース

## ～兵庫・徳島・和歌山3県漁業士交流会～

毎年開催されている3県交流会は、平成28年11月16日（水）～17日（木）にかけて、和歌山県で開催され、塩谷昇会長、松村よう子副会長及び宮崎正理事が出席しました。

1日目は和歌山県水産会館内において、和歌山県水産試験場の研究員による「タチウオの資源動向とより正確な海況の把握方法確立への取組」及び「シラスの資源動向と海況情報提供」の講義が行われました。

2日目は和歌山大学教育学部附属小学校において、5・6年生を対象に3県漁業士による魚食普及活動を実施しました。魚のさばき方やしらす丼作り、日頃行っている漁業について、各県の漁業士より発表がありました。子供たちからの質問の中で、「アメリカの大統領がトランプさんになり漁師さんにとって何か変わりますか」との問いかけには漁業士の皆さんも驚いていました。

## ～漁業懇談会～

平成28年12月2日（金）県庁北別館において、和歌山県議会自由民主党県議団と懇談会を開催しました。塩谷昇会長、松村よう子副会長、濱本浩理事、宮崎正理事及び山本友次部会長（一本釣り部会）が出席し、魚食普及・魚価の低迷をテーマに意見交換を行いました。

### （1）魚食普及について

塩谷昇会長より、「近年、魚離れが進行しており、水産物の消費が減少し続けている。漁業士会では、減退に歯止めをかけるため魚食普及活動に取り組んでいる」と現況を説明しました。県議からは「学校給食で県内産の魚を提供する回数を年1回ではなく、予算や調理の工夫で増やすことはできないのか」などの意見があり、今後給食のあり方について、水産部会で勉強を継続していくこととなりました。

### （2）魚価の低迷について

本県の水産物の産地価格は、長期にわたって低迷を続けており、漁家経営に大きな打撃を与えているため、水産物の輸出や和歌山産魚介類のブランド化の取組の強化について意見交換を行いました。

平成29年3月6日（月）の本会議において、中村裕一議員からの「水産物輸出に向けた県の漁業支援策により漁業振興を図ってはどうか」という質問に対して、知事から「近年、国内消費の落ち込みや魚価の低下等により、漁業者の所得は低迷しているため、水産物の輸出にも取り組んでいきたいと考えている」と答弁がありました。



▲中村議員挨拶の様子



▲懇談会の様子

## ～漁業士認定～

平成29年2月16日（木）、ホテルアバローム紀の国において、「農業士・林業士・漁業士認定式」が開催され、以下の3名の方が漁業士に認定されました。

青年漁業士

八木 秀憲さん（海南市漁協）

指導漁業士

浦越 栄司さん（紀州日高漁協）

芝 秀紀さん（和歌山東漁協）



▲知事、県議会議長とともに記念撮影

（後列右端から順に 八木さん、芝さん、浦越さん）

## ～知事感謝状～

指導漁業士として永年にわたりご活躍された3名の方々に対し、知事から感謝状が贈呈されました。

知事感謝状贈呈者

大川 恵三さん（加太漁協）

東 信義さん（宇久井漁協）

前山 雅敏さん（紀州日高漁協）



▲知事、県議会議長とともに記念撮影

（後列右端：大川さん）

## ～瀬戸内海ブロック漁業士研修会～

平成29年2月9日（木）～10日（金）にかけて、山口県内において瀬戸内海関係11県の漁業士が参加する研修会が開催され、塩谷昇会長と松村よう子副会長が出席しました。

1日目は、各県から漁業士の活動報告や意見交換などが行われました。漁業士会又は漁業士による「先進的な取組・元気のある取組」の事例紹介では、新規就業者との座談会の実施（山口県）、SNSを利用したカキ幼生の分布状況等の情報共有（広島県）、神経締め現地講習会の開催（岡山県）及び神経締めの研修会の実施（香川県）など、近隣県との交流や様々な活動について報告がありました。

2日目は、山口県山口市において、内海栽培漁業センターを訪問し、トラフグ、ミルクイ及びアユの種苗生産について視察を行いました。その後、宇部市にある平成27年度に水産庁の産地水産業強化支援事業を活用し建設された「うべ新鮮市場元気一番」を訪問しました。



▲研修会の様子



▲ミルクイ種苗生産水槽

## ～全国漁業士連絡会議～

平成29年2月27日（水）、全国の漁業士が一堂に会し、情報交換を行う全国漁業士連絡会議が水産庁において開催され、本県からは宮崎正理事が出席しました。会議の冒頭、水産庁増殖推進部研究指導課高木課長補佐より「資源の減少、高齢化、担い手不足などにより厳しい状況が続いている。水産庁としても水産日本の復活に向けて、浜の活力再生プラン、浜の活力再生広域プランなどの推進を行っているが、成果をあげるためには皆さんの活躍が重要である」と挨拶がありました。その後、各ブロックの代表者より今年度の活動報告があり、意見交換を行ったほか、水産庁から「浜の活力再生プランの実施状況及び渚泊推進対策の推進」について情報提供がありました。

## ～魚食普及活動～

漁業士連絡協議会では、魚食普及活動に力を入れて取り組んでいます。平成28年度は部会活動も含め、計5回の魚食普及活動を実施しました。中でも、漁業者に変身する装着体験やチリメンモンスター探しは子どもたちに好評で、次年度の依頼や要望もいただいております。

平成28年度魚食普及活動一覧

実施年月日	対 象	内 容	備 考
平成28年10月31日	御坊市立塩屋小学校5年生	お魚教室、漁港施設見学、しらす丼作り 漁業の話①日高地方の漁業について 漁業の話②まき網漁業について	まき網部会
平成28年11月2日	御坊市立わかば保育園児	お魚タッチ、お魚教室、しらす丼試食 チリメンモンスター探し	本会
平成28年11月17日	和歌山大学教育学部附属小学校 5・6年生	お魚教室、3県漁業士による「漁業の話」 しらす丼作り	本会
平成29年1月31日	有田市立保田小学校5年生	お魚タッチ、有田地区の「漁業の話」 チリメンモンスター探し	有田地区 部会
平成29年3月1日	はまゆう支援学校中学部	お魚タッチ、漁業の話、しらす丼作り 漁業者に变身(救命胴衣や作業着の装着体験) チリメンモンスター探し	まき網部会



▲お魚教室 マグロ解体の様子(塩屋小学校)



▲施設見学 入札体験の様子(塩屋小学校)



▲チリメンモンスター探し(わかば保育園)



▲おさかなタッチ(わかば保育園)



▲しらす丼作り(和歌山大学教育学部附属小学校)



▲昼食の様子(和歌山大学教育学部附属小学校)



▲お魚教室（和歌山大学教育学部附属小学校）



▲有田地区の漁業の話（保田小学校）



▲装着体験の様子（はまゆう支援学校）



▲まき網漁業の話（はまゆう支援学校）

## ◆◆◆ 部会情報 ◆◆◆

### ～～有田地区部会～～

#### ◆鮮魚販売

平成28年11月19日（土）かつらぎ町のかつらぎ公園グラウンドで開催された「第28回かつらぎ町産業まつり」に出店しました。

底びき網で漁獲された鮮魚類（タイやカマス、ホウボウ、イカ、エビ）やサザエ、釜揚げシラスなどの販売を行いました。当日の天候は、時折雨がこぼれるあいにくの天気でしたが、無事完売することができました。

#### ◆視察研修

平成29年2月10日（金）～11日（土）の2日間、視察研修に行ってきました。

1日目は、兵庫県明石市において、食育に関するPRの向上のため平成21年7月に発足された兵庫県漁連SEAT CLUBを訪問しました。

SEAT CLUBでは、料理教室、出前授業、県内水産物及び加工品の通信販売、SNSを通じた情報発信を行っています。中でも年間150回行う料理教室では、漁業者や浜のお母さん、居酒屋の調理人やフランス料理店のシェフなど様々なバリエーションで展開しています。評判がよく予約の取れない教室もあり、研修に参加した漁業士からは、料理教室を行いたいと積極的な意見があったため、前向きに検討していきたいと考えています。

2日目は、京都府宮津市において、京都府海洋センターを訪問し、京都府の資源管理の取組について講義を受けました。

今回の視察内容は、今後の食育推進活動及び資源管理に役立てていきたいです。

## ～～一本釣り部会～～

平成29年1月31日（火）日高振興局において、総会及び勉強会を開催しました。

総会では、視察研修について報告がありました。また、勉強会では、「タチウオ・サワラの漁況と海況について」和歌山県水産試験場の研究員による講義が行われました。

## ～～まき網部会～～

平成29年1月21日（土）和歌山南漁協漁村センターにおいて、総会及び勉強会を開催しました。

総会では、活動実績（体制、魚食普及活動、視察研修）について報告を行いました。

また、勉強会では、「アジ・サバの資源状況とマルアジのブランド化について」和歌山県水産試験場の研究員による講義が行われました。

## ～～東牟婁地区部会～～

平成29年3月10日（金）紀州勝浦漁協において、第1回部会会議及び勉強会を東牟婁漁村青年協議会と共同で開催しました。

部会会議では、平成28年度活動実績及び平成29年度活動計画について報告を行うとともに、役員改選により、太地町漁協の松本修一指導漁業士が部会長に就任しました。

また、勉強会では、「カツオ・マグロ資源の動向について」和歌山県水産試験場の研究員による講義が行われました。

お問い合わせ先 和歌山県漁業士連絡協議会事務局  
和歌山県漁業協同組合連合会 総務指導課 橋爪  
TEL 073-431-5101 FAX 073-422-1137  
E-mail wk-shido@wkgyoren.jf-net.ne.jp